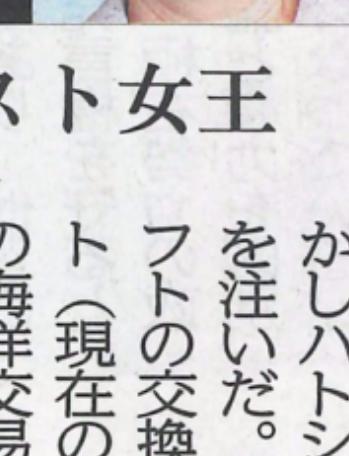


「海を渡ったエジプトの民」という番組を見た。葬祭殿で有名なハトシェプスト女王の治世の話である。ハトシェプストは古代エジプト第18王朝第5代のファラオ。正当な王家の系統を受け継いでいたことで、女性として初のファラオとなる機会を得た。

当時のエジプトの王たちは盛んに軍事遠征をし、領土を広げることに躍起になっていた。し

やまね いく
山根 以久

ハトシェプトのエジプトの言われる。番組を見
る。私がサ



そして「ソシテ」と呼ぶ工チカの繁栄の盛りを盛り

ヘトは内政に力女性視点の発想は
「ロイヤルギ
とと思われ、なか
呼ばれる、プン
オピア北部）と
んに行い、後の
の礎を築いたと
真意が理解され
うに社内が変わつ
感性は人それぞ
伝える努力と受け

見当違いのことをいふと「なんに話の展開がなか受け入れられるか!」と、新鮮に対応してくれた。しかし私の面白いよ 周りを見回すと素晴らしい性はたくさんいる。共通性は旨で、しかも二事といつた。

が違う
もして
どころではな
ハトシェープ
つたのかもし
トシェープスレ
で侮られまい
たと聞く。『
ろう。死後、
の女王の顔は
つた。しかし
に惑わされず
いた勇気に、
るが回
を差し
る。一
な人の
してい
しい女
するの
もして
の狙い

ノストも同じようだ
しれない。当初、ハ
トは女性であること
いとして男装してい
反発は強かつたであ
葬祭殿のレリーフ
は削り取られてしま
し、あの時代に周り
、自分らしく生き抜
私は拍手を送りた